

新型コロナウイルス情報の配信を打ち切りさせていただきます！

というのは、2021.12.8に妻の弟（独身）が鹿児島県の片田舎で孤独死しました。相続人は妻と姉3人ですが、姉たちは90歳から85歳で（旦那たちはみな死亡している）埼玉県に二人、鹿児島県に一人と施設入所しているため、動けるのは妻のみですが、妻も脳腫瘍の後遺症があり、私が葬儀から遺産相続の処理を引き受けて処理しています。

●鹿児島の片田舎の義弟の財産（山林・畑・宅地）は、隣町に住む従弟に全て譲渡して先祖のお墓を守ってもらおうという私の考えで話を進めてきましたが、鹿児島に40年以上も帰っていない相続人次女姉の二人の子供たちが、親の認知症をたてに相続放棄も断り、成年後見人に弁護士を付けて土地はお金に換えてと請求してきました。この弁護士と話を詰めているところへ、認知症の相続人長女の子供二人が母親の対応で喧嘩して、精神的に不安定な長女が勝手にこれまでの話し合いを反故にして正月明けに弁護士を付けてしまい、私も二人の弁護士の対応で時間が足りなくなってしまい、日課としてのウォーキング、俳句吟行、コロナ情報の編集もままならずお休みさせていただきました。

●この間に新型コロナウイルスの取り扱いについて政府は27日、新型コロナウイルスの感染症法上の分類を5月8日に「5類」に引き下げると決めた。季節性インフルエンザと同じ分類にし、平時の社会経済活動に戻れるよう大幅な対策緩和に踏み切る。患者が払う医療費支援などは段階的に縮小する。具体策を3月上旬をめどに公表する。

岸田文雄首相は27日午後の新型コロナ感染症対策本部で「家庭、学校、職場、地域、あらゆる場面で日常を取り戻すことができるよう着実に歩みを進めていく」と語った。

政府は新型コロナ対策の基本的対処方針を改定し、スポーツ観戦やイベントの収容人数制限を27日に事実上撤廃した。5類移行後は新型インフルエンザ等対策特別措置法の適用外となり、基本的対処方針は効力を失う。一つの方向性が見ましたので私の新型コロナウイルス情報のご案内は打ち切りとさせていただきます。

おさらい

●新型コロナウイルス発生時からスペイン風邪に匹敵するほどの流行になるのではと思って情報のご案内させていただきました。スペイン風邪は世界全体の推定感染者数は世界人口の25-30%（WHO）、または世界人口の3分の1、または約5億人とされる。当時の世界人口は18億人から20億人と推定されている。世界全体の推定死者数は1700万人から1億人と幅がある。1927年からの初期の推定では2160万人。1991年の推定では2500・3900万人。2005年の推定では5,000万人からおそらく1億人以上。しかし、2018年のAmerican Journal of Epidemiologyの再評価では約1700万人と推定されている。

●日本でのスペイン風邪の状況はつぎのとおりです。

1918年8月～1921年7月感染者2380万人4673人、死者38万8727人

●新型コロナウイルスの**世界状況**は次の通りです

新型コロナウイルスの累計感染者は世界で6億6985万人、死者は682万人に達している。感染状況を地図で見る。2023/1/27 17:30 最終更新

●新型コロナウイルスの**日本の状況**は次との通りです。

国内では1月27日、**新型コロナウイルスの感染者が午後7時時点で新たに5万3853人確認された。感染者の累計は3237万6933人、死者は344人増えて計6万7431人となっ**

た。密閉、密集、密接の「3密」回避など、一人ひとりの感染防止の取り組みが求められる。
●私も82歳になってしまいました。振り返れば、あっという間に時は過ぎ去り、ついこの前まで元気だった同僚や仲間も癌に侵され余命を宣告されたり厳しい状況下に立たされています。齢を重ねれば致し方ないにせよ、その彼らに週一で電話して昔懐かしい思い出を語りかけています。これまでも皆様にご案内したコロナ情報も仲間への思いを込めて発信してきました。政府が一つの区切りを発表しましたが、これから先もどうなるのかだれも判りません。自己防衛する以外ないのです。我々は高齢者ゆえに体をいたわりながら、コロナに罹患しないよう心掛けましょう。みなさまの健康をお祈りしています。

▲▲▲岡村 昭則▲▲▲